

パラウェーブNAGANOプロジェクト事業

“ スポーツを通じて共生社会をつくる ”



長野県では、新しいパラスポーツ普及の波を起こし、
2028年に長野県で開催される全国障害者スポーツ大会を成功させるため
「パラウェーブNAGANO」プロジェクトがスタートしています。
東京2020パラリンピックを契機に生まれたこのプロジェクトは、
子どもや高齢者、障がいのある人もない人もすべての人を巻き込んだ大きなパラスポーツの波とし、
「スポーツを通じた共生社会」を目指しています。

1 令和3年度実施 主な事業

- パラウェーブNAGANO教育プロジェクト
「パラ学」の実施
- パラウェーブ広場の開催
- ボッチャ競技大会
「パラウェーブNAGANOカップ2021」の開催
- 総合型地域スポーツクラブ等を活用した
障がい者スポーツ拠点づくり事業

2 令和3年度 年間スケジュール

| R3 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | R4 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|----|----|---------------------------------------|----------|----|-----|-----|-----|-----------------------------------|----|----|
| | | | パラウェーブNAGANO教育プロジェクト「パラ学」 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | パラウェーブ広場 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | ボッチャ競技大会 「パラウェーブNAGANOカップ2021」 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | 総合型地域スポーツクラブ等を活用した 障がい者スポーツ拠点づくり事業 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

※事業実施の期間のみ記載（参加者募集等の期間は含まない）

3 事業報告 (1) 教育プロジェクト「パラ学」の実施

パラ学

PARAWAVE NAGANO

～学び～

パラ学とは

県内の学校に対し、県独自のパラスポーツ体験型授業の提供のほか、パラリンピック教育教材やパラスポーツを題材にした各種プログラムの紹介を行うプロジェクトです。

目的

座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むこと

県独自のパラスポーツ体験型授業について

バスケットボール用車いすに乗って、みんなでゴールを目指せ！



あわせ信州

「車いすボールチャレンジ」

長野県出身のパラリンピックのメダリストを講師として学校に派遣
(学校体育館で実施、原則小学4～6年生・中学生が対象、70分～100分授業)

※子どもたちの体験の質を高めるため、事前事後にI'mPOSSIBLEを活用

講師：

加藤 正 (伊那市出身)

車いすバスケットボール

アイススレッジスピードレース

馬島 誠 (辰野町出身)

パラアイスホッケー

パラ・パワーリフティング

1回目の挑戦

まずはチャレンジ！

6人1グループで全員が競技用車いすに乗車した状態で、スタートラインからボールを移動させ、2分間で何回ゴールができるかを競います。

＜イメージ＞



みんなで話し合い (作戦会議)

講師から最小限のヒント！

どうすればゴールが増えるか
みんなで考えよう！



2回目の挑戦

話し合あったことを実践！

1回目より多くのゴールを
決められるだろうか…



振り返り

気づきの交流

講師からの振り返り



| 令和3年度の車いすボールチャレンジの実績及び、利用した学校の声 |

実績 (令和3年7月末～令和4年2月末)

約半年間で多くの学校からお申込みいただきました。

実施数

| 実施学校数 | 実施クラス数 | 受講児童・生徒数 |
|-------|--------|----------|
| 22 | 72 | 1,536 |

市町村別の実施クラス数

| 長野市 | 松本市 | 伊那市 | 木曾町 | 安曇野市 | 佐久市 | 原村 | 駒ヶ根市 | 特別支援学校 |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|----|------|--------|
| 35 | 15 | 8 | 6 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 |

学校の声

< 先生方の声 >

子どもたちが成長する時間になった
(6年生担任)

よく考えられていて、教員が使いやすいプログラムになっている
(教頭先生)

このプログラム、考えたのは誰ですか？
よくできてる。
(5年生担任)

< 子どもたちの声 >

みんなで協力することがどれだけ大切なのか分かった
(4年生児童)

私も「できない」を「できる」に変えられる人になりたい
(4年生児童)

車いすであってもそうでなくても、一緒にスポーツを楽しむことは、みんなだれでも同じだと思った
(4年生児童)

ここで学んだことを、まだ知らない人に伝えたい。そうしたらきっと、世の中の障がいのある人への態度が変わると思う
(4年生児童)

課題と今後

○学校の先生方に視覚的に情報が届くような施策

- ・ 紹介動画の作成
- ・ 県教育委員会を通じて、引き続きの積極的な学校への周知

○次年度スケジュール

- ・ 3月当初及び4月中旬の2回に分けて、学校への周知(予定)
- ・ 5月分から申込み受付を開始し、年間を通じて事業の実施を図る



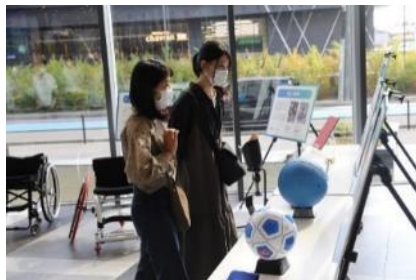
(2) パラウェーブ広場の開催

パラウェーブ広場 in イオンモール松本

～体験～

10月9日（土）、10日（日）に、イオンモール松本様の多大なるご協力の下、イベントスペースにて、ボッチャの体験会や、各種パラスポーツの用具とパラリンピック聖火リレートーチ等の展示を実施

体験スペース・展示スペース



あたり前の風景ってなんだろう

体験会だけではなく、今回は各ショップの皆様方にもご協力いただき、「あたり前であってもいい風景」として車いすに乗ったマネキン等の展示も実施



| 協力団体 |

イオンリテール株式会社様 イオンモール松本様

Asbee Kids 様
OPAQUE.CLIP 様
niko and... 様
マツイ商会 (有) 様
RegettaCanoe 様

OPTIQUE PARIS MIKI 様
JTB 様
ベビードール 様
(株) モルテン 様

| 体験会講師 |

加藤 正さん 馬島 誠さん

| パラウェーブ広場の実績 |

2日間で616人の方が体験

⇒人通りの多いショッピングモールで実施した効果

PARAWAVE NAGANO
新しい波を起こそう！

パラウェーブ広場

in イオンモール松本

階 1階「きらめきコート・かがやきコート」でポッチャの体験会や
各種パラスポーツの用具の展示を実施しています。

- ポッチャ体験会
パラリンピック競技であるポッチャをやってみませんか？
- 展示コーナー
パラスポーツ用具・東京2020パラリンピック聖火リレーテーク展示コーナー

参加無料 2021.10.9 sat - 10 sun / 10時～16時
どなたでもお気軽に体験いただけます！

新型コロナウイルス感染防止の観点から、マスクの着用、手指の消毒、検温に御協力ください。

主催者：パラウェーブNAGANO実行委員会（事務局：長野県障がい者福祉センター）
プロジェクトパートナー：（公財）日本障がい者スポーツセンター / 協力：イオンモール松本、イオンスタイル松本
問い合わせ先：このチラシがある方は会場までお気軽にお越しください。

課題と今後

○人が集まる場所での積極的実施

- ・費用対効果も含め、人が集まる場所での体験会の実施は効果的
- ・特に、休日の商業施設など、子どもが集まる場所での実施がより効果的

○次年度

- ・予算やマンパワーも含めて検討の上、よりコンパクトに県内数カ所で実施が可能か模索する
- ・引き続き、イオンリテール株式会社など、ご協力いただける企業の協力を仰ぐ
- ・今年度は新型コロナウイルスの関係から事前周知が行えなかったが、次年度は可能であれば、積極的に事前告知を行い、認知度を高める。

(3) ボッチャ競技大会の開催



概要

- ・障がいや年齢、性別を問わず、小学生以上であれば誰もが出場可能なボッチャの大会
- ・県内4カ所で地区大会を実施したのち、上位チームによる県大会を実施

目的

- ・多様な方が一緒にスポーツを楽しむことを通じてお互いを理解しあう、そんなきっかけとなる交流の場を提供する
- ・ボッチャ審判員やパラスポーツに取り組んでいる方の活躍の場の提供
- ・大会関係者がボッチャを自身の身近な地域へ還元することを通じて、地域でのパラスポーツの更なる広がりを図る

開催日及び場所

- 地区大会
 - 東信大会（長野県立武道館（佐久市））：令和3年12月11日（土）
 - 中信大会（塩尻市ユメックスアリーナ）：令和3年12月19日（日）
 - 北信大会（長野市南長野運動公園体育館）：令和4年1月16日（日）※
 - 南信大会（飯田市鼎体育館）：令和4年1月22日（土）※
- 県大会
 - 県大会（長野県立武道館（佐久市））：令和4年2月5日（土）※

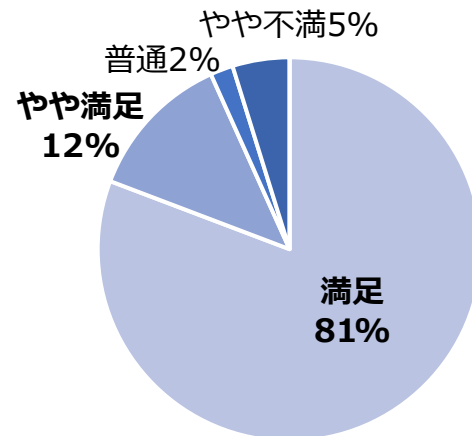
※上記日程は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

参加者の感想

※大会後のアンケートより

- ・ポッチャ楽しかった
- ・大会運営、進行、レイアウト他大変良かったと思います
- ・とてもレベルの高い大会でよかった
- ・普段の練習とは違うチームと対戦でき、各チームの戦略をみるのが勉強になりました。
- ・子どもから高齢者まで同じ土俵で戦うというのはいい事です
- ・多くの方とわいわい楽しめ、いい機会をありがとうございました、来年も参加させて頂きたいと思います。
- ・奥深いスポーツであり、誰もが楽しめるスポーツであるとわかったし、とても楽しい思い出になった

【大会の満足度】



備考

今回実施は叶わなかったが、調整していた事項

- ・県大会優勝者の副賞に、株式会社アポワテックより最新のポッチャセットの無償提供を獲得
- ・日本ポッチャ協会と交渉の末、当協会が主催する「東京カップ（4月9日・10日）」への出場枠を獲得
⇒県大会優勝者が出場する予定で調整していた。

課題と今後

○大会形式の検討

- ・当初の募集チーム数を大幅に上回る申込みがあったため、当初の形式を変えて実施

○ルールに対する審判の統一的な認識の差異

- ・審判によってルール上の解釈や認識が異なり、選手が戸惑う場面があった。
(経験が浅い審判もいたので一定程度は仕方ないが、ルールの理解を深める必要がある。)

○次年度

- ・次年度大会は、何チームをどのような構成で集めるか、検討が必要
- ・大会の周知や募集について、より効果的・効率的な方法の検討が必要
- ・審判のレベルアップに向け、引き続きのポッチャの審判ができる場の提供が必要

(4) 障がい者スポーツ拠点づくり事業

○総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業

身近な地域で気軽にスポーツ活動が行える環境を整備することを目的として、県内5つの総合型地域スポーツクラブに委託して、障がい者へのスポーツ体験会を行う「障がい者スポーツ拠点づくり事業」を実施

内容

福祉施設や特別支援学校、障がい者スポーツ競技団体等と連携し、障がい者スポーツの体験会等を実施し、障がい者参加型のプログラムを導入するクラブに対して、委託契約という形式で金銭的支援を実施（上限額40万円/1クラブ）

契約クラブ

- ・千曲アプリコットスポーツクラブ（千曲市）
- ・大かえで倶楽部（池田町）
- ・NPO総合体操クラブWing（松本市）
- ・木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ（上松町）
- ・たかぎスポーツクラブ（喬木村）



各クラブの実施内容

- ・レクリエーション（ボッチャ、風船バレー等）体験
- ・フットベースボール体験
- ・親子体操
- ・運動支援
- ・水上スポーツサップ体験 等



課題と今後

○課題

- ・自立するには、まだ参加費だけでは賄えない（助成が必要）
- ・たくさんの方に参加いただきたいが、その分配慮も必要な為、スタッフが少ないクラブには体制的に厳しい部分もある
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、軌道に乗るまでに時間がかかってしまう

○今後

- ・来年度も本事業を実施し、少しでも障がい者スポーツを取り入れるクラブが増えるよう手を尽くしたい。
- ・また、2年目、3年目となるクラブは更に障がい者スポーツの拠点として地域で根付くよう、今年度得られた課題を踏まえ、改善策を検討し、地域内で、行政や関係団体等との連携ができる体制づくりを支援したい。